



# 歯っぴー通信



2021年  
12月

KURATOMI DENTAL CLINIC くらとみ歯科クリニック

## 意外と知らない！？電動歯ブラシの使い方

電動歯ブラシは、主に4種類あります。家庭で手軽に使えるものから、歯科医院で使用する高度なタイプまでさまざまです。歯垢は取り除けても、歯石は難しいのでその違いも知っておきましょう。当院にも定期的に通いながら使うのがおすすめです。

種類	特徴
振動式	内部のモーターを使った振動により汚れを取り除きます。比較的安価です。
回転式	ブラシ部分が円形で、磨きにくい歯の裏側や歯と歯茎の境目なども磨けます。
音波式	振動式に音波の刺激が加わるので、毛先から数mm離れているプラークも落としてくれます。細かな気泡や水流を発生させることで歯垢を除去する機種もあります。
超音波式	音波よりも振動数がさらに高くなり、汚れを強力に落してくれます。プラークや歯垢の元になる汚れを壊してくれるので、虫歯や歯周病の予防対策にも有効です。ブラシを当てるだけではプラークの除去効果はなく、手磨きと同様に動かす必要があります。



電動歯ブラシを使うと、歯磨きの効率が上がります。振動や回転の力で歯の表面を磨き、歯垢や歯の汚れを落とせ、手磨きのように歯ブラシでゴシゴシと磨く必要がないため、疲れにくく短時間で磨けることがメリットです。デメリットとしては、正しい使い方をしなかった場合、逆に歯磨きが不十分になってしまい、汚れが口の中に残ってしまいます。また、歯茎などを傷つける恐れもあるので注意が必要です。

### お口の健康レシピ

福岡県歯科医師会より

#### ほうれん草とかきのグラタン 調理時間 40分



- 【材料(4人前)】【分量】
  - ほうれん草·····2わ
  - カキ·····400g
  - 玉ねぎ·····1/2個
  - 小麦粉·····大さじ2
  - バター·····大さじ1
  - 牛乳·····300g
  - チーズ·····適量
- (1) ほうれん草は茹でて、冷水に取り、しづぼって3cmの長さに切る
  - (2) カキは塩水で洗って汚れを落とし、酒をふって軽く煮てザルにあげる
  - (3) 玉ねぎは薄切りにし、バターで透明になるまで炒め小麦粉をふり入れさらに入れる
  - (4) 火からおろして、牛乳を加えてよく混ぜながら、中火でとろみがつくまで煮る
  - (5) 弱火にして、塩、コショウで調味し2~3分煮る
  - (6) (5)に(1)のほうれん草(2)のカキを入れて和え、バターを塗った皿に入れる
  - (7) チーズをふり200度のオーブンで焦げ目がつくまで焼き、青のりをふりかける



院長の挨拶コーナー

「年末のご挨拶」

早いもので、今年も暮れようとしています。

今年はコロナに何もかもが振り回されましたね。

皆様にとってはどうな1年になりましたか？

皆様のご健康が守られますよう心よりお祈り申し上げます。

今年一年の感謝の気持ちを込めて年末のごあいさつまで。



院長 蔵富康浩  
岡山大学歯学部卒業

### 電動歯ブラシの使い方

#### ◆ 「歯にやさしく当てる」ことが基本です

ブラシ部分は、歯の側面とかみ合わせの面に対して、直角に当てます。前歯の裏側や歯並びが悪い部分については、歯の角度にブラシを沿わせて当てましょう。

また、歯と歯茎の境目にあたる『歯周ポケット』は、特に汚れがたまりやすい場所です。斜め45度でブラシを当てて、しっかりと汚れを落とすことを意識することが大切です。ブラシを歯に強く押し当てるとき歯茎や歯を傷めてしましますので、やさしく当てて使いましょう。



#### ◆ 磨く順番を決めて磨き残しの予防

手磨きと同様に電動ブラシでも歯にブラシを当てる順序をしっかりと決めて行いましょう。これは磨き忘れを防止するために欠かせないことで、全ての歯の面にブラシを当ててプラークの取り残しを防ぐために非常に重要なポイントです。優しい力で、ゆっくりとすらすらとブラシを移動させましょう！

#### ◆ 歯磨き粉の選び方

基本的に歯磨き粉を使用しなくてもプラークを除去することは可能です。しかし、歯磨き粉には口臭を取り除いたり、歯垢を付きづらいたりする効果があるため、一緒に使うことでより高度なケアができるようになります。ただし、研磨剤の配合されているものだと歯が削れていってしまったり、泡立ちの良いのだと磨きづらかったりします。研磨剤の配合が少なく、泡立ちの少ない低発泡の「ジェルタイプ」がお勧めです。不安な場合は当院、歯科医師や歯科衛生士にご相談ください。

くらとみ歯科クリニック

茨木市東太田1-5-36

072-657-7476



QRコードからHPをご覧下さい